

 【いいたん基礎教養通信 vol.9】みなさんこんにちは。いいたん基礎教養通信第九号です。

いいたん基礎教養は、専門学校にはない幅広い学びの実現を目指す 30 程度の科目群で、その中には、専門科目の内容に他分野の学生さんが触れられるようにしたものがあります。いわば、おもに四年制大学でみられる「一般教養」の役割を担うものです。「いいたん基礎・教養」の「教養」はその意味なのです。そして、専門科目を学ぶ学生さんが、入門編の科目として履修することもできます。これが「いいたん基礎・教養」の「基礎」の意味なのです。



そうかじゃん！なんでいいたんだけ「基礎・教養」っていうのか、実は謎だったじゃん！

たとえば、いいたんの基礎・教養科目には「教育学」という科目があります。幼児教育の学生さんや、家政で養護教諭や栄養教諭の勉強をしている学生さんにとっては「基礎」となりますし、それ以外の学生さんにとっては「教養」となります。



「教育学」って、先生になりたい人が学ぶ科目かと思っていたけど、それ以外の人も選べるじゃんね！

いじめや不登校問題を学んでみたい、学則ってなんなのか知りたい、どうして数学や英語を勉強しないといけないのか知りたい、教育制度はどうしてこうなっているのか知りたい、等々、多くの学生さんにとって興味があるような話題を中心に、幅広く教育トピックを扱う科目です。ですが、興味関心をもとに、けっして新聞記事や TV のコメンテーターのレベルではない、大学にふさわしい知的興奮を味わえる学問の領域にみなさんをお招きします。



学則ってなんであるのか不思議だったじゃん！数学とか英語も社会で使わなそうなのに勉強するのが不思議だったじゃん！

人生・社会の教養も、専門の基礎も学ぶことのできる基礎・教養を、みなさんもいいたんで学んでませんか？